

## 令和6年度和歌山県立那賀高等学校第1回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和6年6月19日(水) 10:00~11:40

2 会 場 那賀高等学校 応接室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

委員への出席に対するお礼

(3) 学校運営協議会委員自己紹介

各委員からの自己紹介及び学校関係者の紹介

出席：岸田 正幸 福山 晴美 細田 能成 大西 英喜 清水 謙作  
川崎 勝規 森 文哉

傍聴者：教頭 事務長 教務部長 進路指導部長 2学年主任

(4) 学校運営協議会 会長(議長)、副会長選出

会長：岸田 正幸 氏 副会長：細田 能成 氏

(5) 協議題

(1) きのくにコミュニティースクールの取組について

(校長説明)

リーフレットで説明。核の地域は、岩出市。紀の川市、和歌山市からの生徒も多い。  
運営協議会の役割は3つある。協議会で議論する中身を説明。

(意見)

・協議会には、権限がある。学校の運営方針を承認することなど。

(2) 令和6年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針について

(校長説明)

学校要覧等により本校の現状を説明。紀北地域の中学校の卒業人数。R7 那賀地域は現状維持だが、和歌山市は大幅に減少する。入学者の地域別割合は、岩出市、紀の川市、和歌山市が約3割ずつ。進学先の状況は、R5 卒業生で、国公立進学者が増え、26名。看護・医療系の希望者が多い。国際理解教育を推進していく。留学生も来る。姉妹校からも来る。国際科を核としていく。帰国生徒枠でも入学している。これらを踏まえて、令和6年度学校評価シートの確認。3つの柱。4つの重点目標。令和5年度学校評価シートの学校関係者評価を参考にした。

・令和5年度と令和6年度の比較。令和6年度は整理した。

・目指す学校像のところは簡素化したのか。

・理解しやすくした。

・グローバルに活躍する那高生。卒業生で活躍している人がいるのか。

・日産の元副社長(志賀俊之氏)がいる。目指す人がいるといい。他にいろいろな人がいる。

・日本IBM社長(山口明夫氏)やピアニスト(中川知保氏)が世界で活躍している。

- ・ハンドボール施設もいいものがある。男女ハンドボール部はどうか。スポーツ推薦はどうか。
- ・ハンドボール部は、少しずつ増えている。中学校からも練習に来てくれるが、先にスポーツ推薦で粉河高校に行く生徒が何人もいた。そのスポーツ推薦はなくなっていく方向。特色のある選抜に移行していく。
- ・普通科改革が現在行われている。
- ・橋本、新宮は来年度から改編する。
- ・スポーツ活動と学力の向上は、比例しているのではないか。
- ・以前行われていた粉河と那賀の対抗戦（粉那戦）を復活させてはどうか。
- ・ホームページに有名人をのせてはどうか。来校者数を開かれた学校の指標とするのはどうなのか。学校は閉鎖的なところがある。国際科から普通科へ転科できればよい。
- ・11月は学校開放月間としている。科を変更するのは制度上難しい。各学校でくくり募集はある。
- ・キャリア教育推進の目標はよい。社会に出てからどうしていくのかが大切。これをしっかりやっていてもらいたい。
- ・令和6年度の運営方針を承認してよろしいか。全員承認する。

## (2) 令和6年度運営協議会が実施する事業について

### (校長説明)

「総合的な探求の時間」における取組について説明を行う。本年度も那賀振興局とタイアップして事業を実施していきたい。

- ・運営協議会事業として、「2年生の総合的な探求の時間」の活動をサポートしていく。

## (3) その他

- ・くちなしの花は校内にあるか。スクールカラーは何か。エンジ色は、イメージカラー。スクールカラーを部活動などで統一してはどうか。
- ・ユニフォームを変えるタイミングで検討することはできる。実際は、部の伝統もあるので、むずかしい。
- ・学校の玄関先の掲示版が古くなっている。働き方改革で具体的に何かあるのか。
- ・時間管理している。時間外勤務月間80時間以上。指導対象としている。

## (6) 閉会

校長謝辞

## 4 資料

- (1) きのくにコミュニティースクールリーフレット
- (2) 令和6年度学校要覧（運営方針 教育目標 スクールポリシー）
- (3) 本校の現状

- (4) 令和5・6年度学校評価シート
- (5) 地域貢献事業及び国際交流事業実施状況
- (6) 「総合的な探求の時間」内容
- (7) 令和6年度入学生用学校案内パンフレット
- (8) 令和5年度育友会だより
- (9) 和歌山県高等学校運営協議会規則

